

## 「地域の福祉力」の再構築による温もりのある地域づくり

鳥取県知事 平井伸治

総務省が昨年実施した社会生活基本調査によると、住民がボランティア活動に関わった割合が鳥取県は全国1位の34.5%でした。特に、まちづくりや自然環境保護など地域社会との関わりを大切にする活動などで全国平均を大きく上回っています。

鳥取県では、地域社会に関わる活動が盛んですが、他方、都市化や核家族化などにより、地域の相互扶助機能は弱体化し、身近な地域でありながら、他人の生活に深くは関わろうとしない傾向や、行政まかせにするといった風潮が表出しており、また、関係者の協力、連携が十分には取られないことなどから、支援を必要とする人が地域の中で暮らしにくくなったという声も届いております。また、地域社会の中には、偏見や誤解によって地域での生活に困難を抱えている人々がおり、地域住民の意識の変容も求められています。その一端として、罪を犯した人が再び犯罪に陥らないように手助けをし、犯罪を未然に防ぐ働きかけを行ったり、更生しようとする人がやり直しできるよう温かく受け入れる地域社会をつくっていくことが必要です。

そうした地域社会づくりに不可欠なのは、地域住民によって培われていく「地域の福祉力」であると考えます。「地域の福祉力」とは、一昔前の日本には普通にあった、それぞれの地域で、誰もが安心して充実した生活を送ることができるようご近所同士で支え合い・助け合う地域社会の力です。「地域の福祉力」を再構築するためには、公的な機関による働きかけだけでなく、地域福祉の推進者である保護司、民生委員、ボランティアに取り組む方々などが中心となり、住民同士の支え合い・助け合いを再生し、強くしていくことが必要です。

鳥取県では、「地域の福祉力」を元気にしていくため、生涯を通じた福祉教育の機会の提供や、体験・交流活動等の推進を支援しています。また、ボランティア活動への積極的な参加は、「地域の福祉力」の強化に大きな役割を果たすものと考え、取り組みを支援しています。

犯罪や非行に陥った人への更生支援に取り組む保護司の方々を始めとする更生保護関係者の皆様の日頃の地域の中での活動は、犯罪件数の減少に多大な貢献をいただいております。深く感謝しておりますとともに、「地域の福祉力」を強化する上で意義深いものと思っております。今後も県民の皆さんと協力しながら、犯罪のない安心できるまちづくりを進め、誰もが住み慣れた地域の中で生き生きと暮らせるよう「地域の福祉力」を再構築し、温もりのある地域づくりを推進していきたいと考えていますので、皆様方の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。